

処遇・級別定数改善で地整当局・人事院と該当者交渉 建専官等の5級、事務所係長4級の早期昇格を！ 係長なら3級に！職員不足、空きポストの解消を！

地整当局・人事院中部事務局と一〇月一日に処遇及び級別定数改善該当者交渉を行いました。九分会十四名の参加があり、参加者からは昇格への切実な思いをはじめ、組織・増員要求、空きポストの解消、防災体制要員の確保等を求めました。



【沼津 山田さん】
建設専門
官で三年、
五級昇格を
希望する。

人事院勧告で〇・〇九%の超低額。特に高卒新採は、一部地域で最低賃金を下回る。違法状態であることを人事院に伝えよ。初任給を上げると三〇代中盤まで逆転現象が生じると考えられるが、昇格も含めて改善を求める。

台風対応で現場派遣された。職員の安全管理ができていない。安全教育を徹底し安全確保を求める。超勤上限規制、沼津はできない。三六〇億円の予算を百名の職員で時間内に執行できたマジックだ。

【静岡 石橋さん】
ここ数年で一〇名以上の減員。七つの空きポストがある。負担となっている。う



インでの仕事ができず個人まかせの状態。防災・保全の面で自治体サポート・支援が付加された。人が少なくなりきれない。いつ破綻するか分からない状況。WLBも超勤抑制も個人でフォローしないといけない。必要な職員の配置、業務改善、防災等の体制がとれる増員をお願いする。



【名国 加藤さん】
維持出張所では、行政相談も多く、苦情の質も変わってきており、たいへんな業務状況。その中で若い係長が配置されているが、二級のままで頑張っている。職責にあうよう、早期の三級への昇格を。



【桑名 内藤さん】
公園課の係長がまだ三級。四級昇格を。二級の係長が

数名いる。担当者も二級でモチベーションがさがっている。早く三級昇格を。四月に五名減の上、八つの空きポストがある。職員を増やして欲しい。特に公園課は二名減って建専官が一人で仕事をしている。本局の支援もお願いしたい。超勤が減ったからといって人を減らすことがないようにして欲しい。



【三重 藤沢さん】
欠員がまともに補充できない現状を打開して欲しい。

【三重 藤沢さん】
空きポストの管理第二係長の仕事を出張所長が兼任している。一人では出張所の仕事は回らない。周りのフォローで現状をまかなうだけではダメ。多忙な中、業務遂行、若手育成等を「全てやる」では職場はついていけない。組織・人員の改善を。四月期異動で塚本さんは地元へ帰れず、山下さん・北原さんを含め六級昇格の目がない。



【三重 辻さん】
保全対策官で品確課の仕事をしているが所掌事務から外れており問題。入契では、事務所長や副所長と対峙する。正當に評価して処遇改善を求める。

庁舎建替えが行われているが駐車場が確保されていない。災害時にタクシーは少ない。マイカーで行くしかない。



【紀勢 中村さん】
四級・五級のポストがない。四級になれる係長が紀勢

に来ることで、四級の目を潰されている。端の事務所調整手当もない。不人気な事務所になっている。早急に手を打って欲しい。障害者雇用があったが一級採用。早期に二級にあがっていきえるようにして欲しい。

い。目標数を揃えるだけではダメ。処遇改善を。

【岐阜 田口さん】



防災室が
できたが、
電通職員が
情通課から
削られた。

TV会議やIT技術による
業務改善により業務は増え
ている。全体の業務改善の
ために増員を。

業務の押しつけ合いが多
い。電子契約システムによ
り新たにパソコンが必要だ
が、事務所で調整しろとの
話もある。むしろ業務が増
える。改善を。

【岐阜 森下さん】



民間に行
った同世代
より給料が
低い。超勤
してトント

ン。仕事の熱意を削がない
ような環境改善を。

【岐阜 柏井さん】



多治見の
西さんの五
級昇格、田
中さんの四
級昇格を。

田中さんは異動前の名国な
ら四級昇格の目があった
が、異動になった。働く意

欲の出る処遇改善を。

【岐阜 稲葉さん】



今年度
東海環状で
二箇所の供
用。毎週の
ようにPM

会議をやり、いろんな課題
が出ており、毎晩遅くまで
働いている。道路管理では
何力所も通行規制区間があ
る。人が足りない。

杉野さん、金武さんは専
門職で五級の目がない。多
賀さん、鶴飼さんは五〇歳
近くで三級。改善を。

新採が給料が安いと言っ
て辞めていく。五〇歳代は
賃金抑制されている。展望
が見えない。改善を求める。

【天竜 田中さん】



天竜の勝
又さんの四
級昇格を。
長野には
四事務所あ

るが、各々職務が異なる。

昇任に配転を求められる
中、技術系は昇任できない。

単身できない人は低いポス
トのまま。単身しても戻る
ポストがない。係長、スタ
ッフポストの格上げを。

出張所に所長しかいない
上に、所長は単身者が多い。
体制組めない。係長の空ポ
ストを埋めて欲しい。

今までにない 増員要求している

調査官からは、「処遇改
善は重要な課題であり、全
体で改善されるよう、今で
良いではなく少しでも改
善していきたい」「五級・
四級のポスト作りは、基本
的には仕事の必要性によ
るが、処遇改善も念頭にお
いてやっていく」「要員確
保は重要であるが、厳しい
状況。今までになく増員要
求をしている。整備局の重
要性を言う報道も出てき
ており、情勢は良くなって
いると思う。一人でも多く
要員確保していく」「過去
の新採抑制で空ポストが
生じている。職場には苦労
をかけている。必要なポス
トとあっており、引き続き
空ポスト解消に努力する」
「障害者雇用については、
どういう形で処遇してい
くか考えていく」「若い職
員は大事な人材。展望が持
てるよう考えていかないと
いけない」「業務改善は
個人でできることではな
く、職場で話して事務所で
判断してやっていく。どう
やれば事務所の仕事を軽
減できるか考えていく」と
の回答がありました。

これに対し、参加者から
は「改善していく、考えて
いる」と言うが、職場から

はそれが全く見えてこず、
伝わっていないことを指摘
しました。

人事院中部事務局 四級までは先輩と同じよ うにあげていけるはず

地整当局との交渉に続
ぎ人事院中部事務局と、
九分会から一三名の参加
で交渉を行いました。

各県代表者から職場状況
についての説明を受け、中
部事務局総務課長からは、
「皆さんからの要求は速や
かに本院に報告する」とし
た上で、「若い職員の給与
が民間並でないのは確か。
バランスを見ながら改訂し
ていくことになる」「パワ
ハラについては、人事院も
三月より有識者会議で検討
中。パワハラの定義、研修、
相談体制などを議論頂いて
いる」「事務所格付けは、他
機関とのバランス、職責等
の困難度の向上具合を見な
がら改善されると思う」「障
害者雇用は、一級採用に制
限はしていない。また、昇
格も制限しておらず、経験
年数があれば採用一年で二
級、さらに一年で三級への
昇格は可能」「宿舎の要望
については、財務省にあげ



人事院交渉で追及する参加者（左）と人事院中部事務局（右）

ていく」「四級昇格までは
世代間のバランスがとれる
ように上げられるはず。ある
程度、配慮がされているは
ず」「若年係長の三級昇格
については、定数はもっと
配られているはず。他省庁
だと三〇歳ぐらいから三級
のイメージ」との回答があ
りました。

これに対して参加者から
は、昇格の現状が人事院の
言うとおりになっていない
ことを指摘し、人事院に改
善を求めました。